



欧米式最新診療システムでより質の高い診療が可能に

石部基実クリニックの特徴は、人工股関節置換術に特化したチーム医療体制を構築していることです。石部基実院長は、「当クリニックでは外来診察と退院後のフォローを、また手術は小笠原クリニック札幌病院で行っています。協力病院と連携したこのシステムにより、医師やスタッフがより多くの患者さんを診ることで経験値が上がり、質の高い診療が可能になりました」と話す。

人工股関節置換術に特化したチーム医療を推進しナビゲーションシステムで正確、安全な手術を行う

石部基実クリニック

石部 基実 院長
いしへ・もとみ●北海道大学医学部卒業後、同大学医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、NTT 東日本札幌病院人工関節センター長などを経て、2008年、石部基実クリニックを開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本リウマチ学会認定リウマチ専門医。医学博士。座右の銘は、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」

狩谷 哲 副院長
かりや・さとる●金沢医科大学医学部卒業後、昭和大学病院整形外科助手(股関節班チーフ)、米国アンダーソン整形外科クリニック、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年、石部基実クリニック勤務。11年から副院長。日本整形外科学会認定整形外科専門医。座右の銘は、「守」「破」「離」

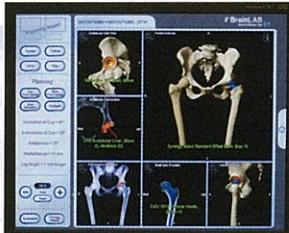
狩谷 哲 副院長
長も、「アメリカの最先端クリニックに留学した際、外来診療と手術を別の施設で行う特化型システムで対応しています。その欧米式の最新診療システムがすでに札幌で導入されたときは、とても驚きました」

石部 基実 院長
いしへ・もとみ●北海道大学医学部卒業後、同大学医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、NTT 東日本札幌病院人工関節センター長などを経て、2008年、石部基実クリニックを開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本リウマチ学会認定リウマチ専門医。医学博士。座右の銘は、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」

狩谷 哲 副院長
かりや・さとる●金沢医科大学医学部卒業後、昭和大学病院整形外科助手(股関節班チーフ)、米国アンダーソン整形外科クリニック、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年、石部基実クリニック勤務。11年から副院長。日本整形外科学会認定整形外科専門医。座右の銘は、「守」「破」「離」

ナビゲーションシステムが人工股関節置換術のMISに貢献

人工股関節置換術の90%をMISで行う
3D画像によるナビゲーションシステム。「ナビゲーションを100%信用するのではなく、必ず目で見て確認するようにしています」と石部院長



最後は手入力で調整することが少なくなく、熟練の医師だからこそ活用できるシステムであるという。同院の2011年1~12月の人工股関節置換術は621件で、手術件数だけでなく脱臼などの合併症の情報もホームページで公開する。

また、患者が「石部基実クリニック患者の会」のホームページを開設し、情報交換を行っている。石部院長は、「患者さん同士がコミュニケーションを取り合って、『入院してからのほうが安心する』といわれるほどです。退院時に患者さんが笑顔で帰られるのを見るのが一番うれしいですね」と話す。

DATA

石部基実クリニック

診療科目●整形外科

診療時間●9:00~18:00 完全予約制

休診日●水・土・日・祝

〒005-0012

北海道札幌市南区真駒内上町 1-1-25

グリーンプラザ真駒内公園ビル

TEL●011-876-9008(月~金9:00~12:00)

FAX●011-876-8089

<http://www.dr-ishibe.net/>

<http://www.satoru-kariya.com/>

石部基実クリニック 患者の会

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kanzyanokai/>